

投資情報ウィークリー

2018年8月13日号
調査情報部

今週の見通し

先週の東京市場は、もみ合いのあと大幅安となった。日米の新貿易協議(FFR)や8月のオプションSQを控えて、手控えムードが強まり、方向感の乏しい展開となったが、週末には新興国通貨安やユーロ安を背景に、大幅安となった。引き続き4-6月期決算発表では個別に明暗が分かれる展開となり、選別色が一段と強まった。なお、8月のオプションSQ値は22655.70円となった。米国市場は、貿易摩擦懸念が燻る中、4-6月期の決算発表も一巡し、材料出尽くし感から模様眺め気分の強い展開となった。NASDAQ市場はIT関連株が持ち直しの動きとなり、先月末の下落分をほぼ埋め戻した。為替市場でドル円は、新興国通貨安を映して、円がやや強含みとなり、1ドル110円台後半へ円が買われた。ユーロ円はハードブレグジット懸念を背景に、1ユーロ126円台までユーロが売られた。

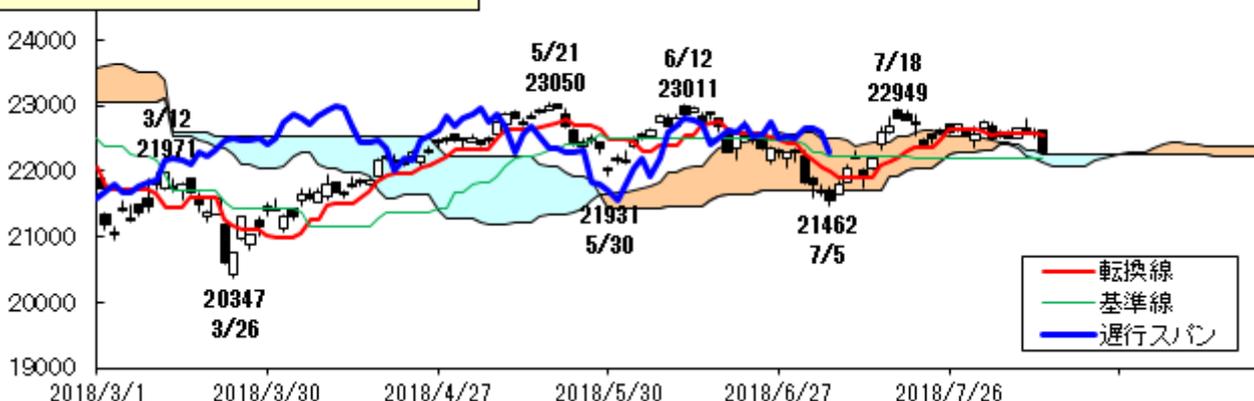
今週の東京市場は、下値固めの動きとなろう。4-6月期の決算発表が一巡し、材料出尽くし感が強まるとみられるほか、夏休みで市場参加者が減少する中、引き続き貿易摩擦問題など、外部環境に左右されやすい展開となろう。ただ、決算発表で好調な業績が確認された銘柄には押し目買いも予想され、下値はある程度限られよう。米国市場は中間選挙を控えて、トランプ大統領の言動に注目が集まりやすいものの、景気の好調を背景に、概ねしっかりの動きとなろう。為替市場でドル円は、中国市場や新興国通貨の動向を睨みながら、1ドル110円~112円のレンジ相場となろう。ユーロ円は、欧州政治情勢や経済指標を睨みつつ、1ユーロ127円前後の動きとなろう。

今週、国内では15日(水)に7月の訪日外国人数、16日(木)に7月の貿易統計が発表される。一方、海外では14日(火)に7月の中国鉱工業生産、小売売上高、15日に7月の米小売売上高、鉱工業生産、16日に7月の米住宅着工、17日(金)に7月の米景気先行指数が発表される。

テクニカル面で日経平均は先週末、25日線や75日線に加え、200日線も一気に下回った。日足一目均衡表では抵抗帯上限(22256円:10日現在)や基準線(22206円:同)を向う動きとなった。これらのほか、7月13日に空けた窓(22233円)や上昇に転じてきた26週線(22144円:同)などが22200円前後には集中しており、強力な下値支持として意識されよう。一方、25日線(22484円:同)や転換線(22536円:同)を回復すれば、8月8日高値(22800円)や7月18日高値(22949円)への戻りを試す展開となろう。(大谷 正之)

日経平均一目均衡表(日足:円)

Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成



【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。



【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

投資のヒント

☆テクニカル的に好位置にある主な取組良好銘柄群

東証1部信用倍率は、6月29日時点の3.89倍をピークに下降に転じ、8月3日時点では3.42倍となっている。個別銘柄でも信用倍率1倍未満の銘柄は、全体の25.7%に相当する540銘柄に達しており、株価が13週・26週の両移動平均線の上位に位置する銘柄も多い。業績好調銘柄も散見され、注目したい。(野坂 晃一)

表. テクニカル的に好位置にある主な取組良好銘柄群

| コード | 銘柄 | 株価(円) | 予想PER (倍) | 実績PBR (倍) | 予想利回り (%) | 予想経常利 益伸率(%) | 信用倍率 (倍) | 13週乖離率 (%) | 26週乖離率 (%) |
|------|--------|-------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-------------|---------------|---------------|
| 6455 | モリタHD | 2334 | 18.2 | 1.73 | 1.28 | 6.3 | 0.06 | 4.63 | 8.3 |
| 1934 | ユアテック | 968 | 9.8 | 0.63 | 2.06 | -16.4 | 0.09 | 6.1 | 7.91 |
| 6005 | 三浦工 | 3190 | 33.5 | 3.05 | 0.9 | 5.8 | 0.09 | 11.17 | 5.66 |
| 9627 | アイエムHD | 8380 | 32 | 3.07 | 0.65 | -10.6 | 0.09 | 3.95 | 8.14 |
| 4633 | サカタINX | 1589 | 14 | 1.26 | 1.88 | -15.5 | 0.1 | 3.97 | 3.41 |
| 3880 | 大王紙 | 1591 | 23.2 | 1.3 | 0.65 | 17.4 | 0.12 | 2.57 | 3.92 |
| 5851 | リョービ | 4365 | 9.9 | 1.19 | 2.13 | - | 0.15 | 19.8 | 35.14 |
| 6349 | 小森 | 1411 | 30.4 | 0.63 | 2.83 | -27.6 | 0.16 | 4.21 | 3.59 |
| 9010 | 富士急 | 3295 | 62.5 | 6.97 | 0.48 | 8.9 | 0.16 | 0.41 | 7.94 |
| 7616 | コロワイド | 3115 | 112.1 | 8.03 | 0.16 | 126.5 | 0.18 | 5.36 | 11.99 |
| 4202 | ダイセル | 1282 | 11.7 | 1.11 | 2.49 | -13.2 | 0.19 | 3.9 | 5 |
| 5991 | ニッパツ | 1186 | 11.5 | 0.95 | 2.02 | -1.4 | 0.19 | 7.66 | 6.25 |
| 9069 | センコーHD | 893 | 11.7 | 1.2 | 2.91 | 11.5 | 0.19 | 1.02 | 5.44 |
| 3549 | クスリアオキ | 8920 | 30.2 | 6.34 | 0.2 | 7 | 0.2 | 9.75 | 17.03 |
| 7733 | オリンパス | 4540 | 38.7 | 3.69 | 0.66 | -30.9 | 0.2 | 7.78 | 9.96 |
| 8729 | ソニーFH | 2248 | 17.7 | 1.56 | 2.78 | 24.2 | 0.22 | 5.41 | 9.65 |
| 9830 | トラスコ中山 | 2884 | 20.4 | 1.62 | 1.23 | -5 | 0.22 | 4.37 | 5.35 |
| 6013 | タクマ | 1423 | 14.7 | 1.5 | 1.4 | 3.1 | 0.24 | 6.92 | 11.58 |
| 7105 | ロジスネクス | 1345 | 16.6 | 2.34 | 0.81 | 30.6 | 0.25 | 9.03 | 23.91 |
| 7846 | パイロット | 6550 | 17.8 | 4.02 | 0.61 | 2.1 | 0.31 | 6.02 | 9.13 |
| 7251 | ケーヒン | 2359 | 17.4 | 0.93 | 1.86 | -30 | 0.35 | 5.07 | 7.16 |
| 7947 | エフビコ | 6470 | 27 | 2.52 | 1.25 | 9.2 | 0.37 | 3.67 | 0.84 |
| 7226 | 極東開発 | 1800 | 10.6 | 0.82 | 2.11 | -8 | 0.4 | 4.43 | 7.16 |
| 7309 | シマノ | 16430 | 30.8 | 3.47 | 0.94 | 27.2 | 0.4 | 2.4 | 5.96 |
| 7613 | シークス | 2552 | 16.2 | 2.23 | 1.05 | 4.6 | 0.4 | 8.04 | 8.74 |
| 4716 | 日本オラル | 9450 | 30.2 | 9.21 | 1.28 | 3.6 | 0.42 | 4.41 | 6.59 |
| 4661 | OLC | 12250 | 50.3 | 5.44 | 0.32 | 2.8 | 0.45 | 5.76 | 9.97 |
| 4902 | コニカミノル | 1113 | 14.2 | 1.03 | 2.69 | 26.2 | 0.45 | 7.74 | 12.93 |
| 6849 | 日本光電 | 3310 | 27.3 | 2.6 | 1.05 | 3.4 | 0.45 | 6.62 | 9.05 |
| 7408 | ジャムコ | 2996 | 44.6 | 2.75 | 0.66 | -23.5 | 0.45 | 22.93 | 25.98 |
| 8140 | リョーサン | 4055 | 24.4 | 1.04 | 3.69 | -12.4 | 0.45 | 2.33 | 2.79 |
| 2001 | 日本粉 | 1920 | 16.7 | 0.99 | 1.56 | 13.8 | 0.47 | 1.59 | 7.25 |
| 4812 | ISID | 3630 | 24.6 | 2.39 | 1.54 | 24.7 | 0.48 | 8.06 | 16.1 |
| 7752 | リコー | 1153 | 17.7 | 0.91 | 1.73 | - | 0.49 | 11.45 | 8.08 |
| 2389 | オプトHD | 2562 | 41.3 | 2.5 | 0.46 | -21.9 | 0.51 | 12.58 | 35.22 |
| 6269 | 三井海洋 | 3435 | 12.9 | 1.35 | 1.23 | -9.5 | 0.52 | 13.11 | 19.53 |
| 5352 | 黒崎播磨 | 8900 | 10.4 | 1.4 | 2.24 | 22.3 | 0.56 | 31.94 | 51.16 |
| 3407 | 旭化成 | 1587 | 15.8 | 1.69 | 2.14 | -6.4 | 0.57 | 7.53 | 9.81 |
| 4694 | BML | 2980 | 20.6 | 1.74 | 1.27 | 2.4 | 0.59 | 5.39 | 8.41 |
| 2815 | アリアケ | 9890 | 35.6 | 4.27 | 0.66 | 6.4 | 0.61 | 3.44 | 8.29 |
| 4619 | 日特塗 | 2337 | 12.9 | 1.3 | 1.54 | 0.3 | 0.62 | 2.03 | 5.57 |
| 4684 | オービック | 9770 | 31.7 | 4.35 | 1.17 | 7.7 | 0.64 | 3.4 | 6.07 |
| 6278 | ユニオンツル | 3960 | 21.3 | 1.32 | 1.51 | 18.3 | 0.65 | 5.51 | 4.74 |
| 6136 | OSG | 2477 | 17.9 | 2.03 | 1.85 | 14.9 | 0.72 | 3.54 | 2.92 |
| 7463 | アドヴァン | 1026 | 11.8 | 1.2 | 2.53 | 21.1 | 0.72 | 4.19 | 2.85 |
| 8129 | 東邦HD | 2773 | 18.2 | 0.88 | 1.08 | -29.3 | 0.77 | 0.93 | 4.65 |
| 6420 | 福島工業 | 5470 | 17.8 | 2.22 | 0.73 | 2.9 | 0.8 | 7.09 | 11.89 |
| 3861 | 王子HD | 748 | 14.8 | 1.11 | 1.6 | 36.5 | 0.83 | 5.15 | 5.04 |
| 4726 | ソバンテック | 2311 | 28.4 | 3.37 | 0.64 | 4.2 | 0.85 | 32.8 | 28.59 |
| 9934 | 因幡電産 | 4835 | 14.5 | 1.14 | 2.89 | 4.7 | 0.88 | 3.19 | 2.24 |
| 2730 | エディオン | 1234 | 12.3 | 0.8 | 2.26 | 17.5 | 0.92 | 8.21 | 2.79 |
| 7593 | VTHD | 555 | 13.5 | 1.74 | 3.6 | 14.3 | 0.92 | 0.41 | 1.89 |
| 3064 | モノタロウ | 5680 | 70.2 | 26.86 | 0.45 | 19.7 | 0.94 | 14.43 | 30.79 |
| 3865 | 北越コーポ | 644 | 14.3 | 0.63 | 1.86 | -6.5 | 0.98 | 7.72 | 0.82 |

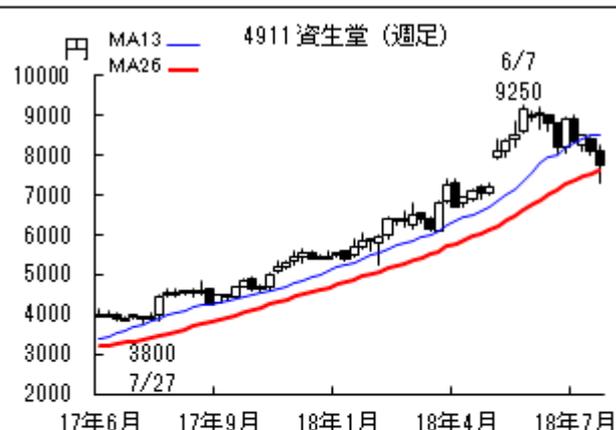
※指標は8/9時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

資生堂(4911・東1)

第2四半期累計期間(1~6月・上期)の売上高は5326億円と実質(事業譲渡分を除くベース)の前年同期比で17%の増収だった。売上高の54%を占める主力8ブランド(「SHISEIDO」、「クレド・ポー ポーテ」など)の売上成長が大きく、実質で31%伸びた。ブランドの集中と選択の成果が出ている。地域別では、日本がインバウンドの好調(店頭売上げが480億円増収)の他、日本人の売上高も同2桁伸びた。中国ではMade in Japanブランドの「エリクシール」が牽引し、実質で前年同期比32.4%。トラベルリテールも高成長が続いた。利益面では高採算のハイプレステージブランドの販売好調、ブランドの選択と集中効果、働き方改革などで生産性が向上、人件費・経費比率が低下し、営業利益は711億円と前年同期比105%の大幅増益だった。上期の好調を受けて通期見通しを修正、売上高は前回計画比で570億円、営業利益は同200億円の上方修正。尤も、下期の原価率を上期に比べて2%悪化するとみている(下期はミックス悪化があるが、新製品効果でカバーも可能か)他、マーケティング投資の積極化で売上の伸びも計画以上になりそうなことから、更なる上振れの可能性がありそうだ。なお、中期計画の数値目標を2年前倒しでクリアしそうなことから、今後、新たな3カ年計画を策定する予定。(増田 克実)

株価 7750円(8/10) 予PER 46.18倍 予想利回り 0.51%



| 決算期 | 売上高 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 一株益 (円) | 配当金 (円) |
|----------------------|--------------|---------------|------------|------------|
| 連 2016.12 | 850,306 | 37,174 | 80.41 | 20.00 |
| 連 2017.12 | 1,005,062 | 80,327 | 56.95 | 27.50 |
| 連 2018.12予 (日経予想) | 1,090,000 | 110,000 | 167.79 | 40.00 |

Quickデータより証券ジャパン調査情報部が作成

日本特殊陶業(5334・東1)

第1四半期(4-6月)業績は売上高が前年同期比9.3%増の1069.3億円、営業利益が同18.0%増の190.3億円。プラグやセンサなどの自動車関連事業は好調な新車販売を受けて堅調に推移したほか、補修用製品も中国やインドで好調だった。テクニカルセラミックス関連事業では半導体関連が不採算製品の撤退で減収となったものの、合理化効果で赤字幅は縮小した。セラミック関連は半導体製造装置用部品や工作機械向けに堅調で、大幅な増収増益となった。中間および通期見通しは据え置かれているが、営業利益の進捗率は通期計画に対して26.4%と順調。今後も、自動車関連事業は各国の環境規制強化の流れを受け、高付加価値製品の伸びが見込まれるほか、半導体関連もコスト削減を継続し、収益改善が続こう。また、セラミック関連も安定した収益体制を確立し、大幅な増収増益が期待される。同社は自動車の電動化に伴う事業環境の変化に対応するため、コア技術を生かしたビジネス展開に加え、M&Aによる新規事業への投資を拡大する計画。中でも、全固体電池や固体酸化物形燃料電池、呼気ガスセンサや人工骨、水素漏れ検知センサやレーザーダイオードパッケージなど、セラミックセンサやシート積層技術で新たな成長分野を切り開いていく考えだ。(大谷 正之)

株価 2982円(8/10) 予PER 11.82倍 予想利回り 2.34%



| 決算期 | 売上高 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 一株益 (円) | 配当金 (円) |
|----------------------|--------------|---------------|------------|------------|
| 連 2017.03 | 372,919 | 55,559 | 119.44 | 42.00 |
| 連 2018.03 | 409,912 | 69,094 | 209.37 | 60.00 |
| 連 2019.03予 (日経予想) | 436,000 | 75,000 | 252.2 | 70.00 |

Quickデータより証券ジャパン調査情報部が作成

【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

ミネベアミツミ(6479・東1)

第1四半期(4-6月)業績は売上高が前年同期比9.2%増の2130.3億円、営業利益が同14.4%減の142.9億円となり、売上高は過去最高を更新。機械加工品事業は主力のボールベアリングが自動車向けの省エネ・安全装置用に加え、ファンモーター向けの需要が拡大したほか、民間航空機用ロッドエンドベアリングも中小型機市場の回復を受け増加。また、HDD向けピボットアッセンブリは市場縮小の中、シェアは堅調で、販売数量を伸ばした。部門収益は15.9%増収、15.7%営業増益。一方、電子機器事業はステッピングモーターをはじめとするモーターが自動車向けに好調だったものの、スマホ向け液晶バックライトが市場縮小により減少、同12.5%減収、71.6%減益。ミツミ事業はスマホ向けのカメラ用アクチュエーターの売り上げが減少する一方、ゲーム機器等の機構部品やスイッチ、アンテナ、コネクタなどが好調で、同49.8%増収ながら8.3%減益。会社側では構造改革の成果などにより、期初計画を大幅に上回るスタートとなったことから、中間期の営業利益を25億円、通期を20億円それぞれ引き上げた。為替前提は引き続き1ドル105円、1ユーロ130円。機械加工品事業では主力のボールベアリングの生産が7月に初の3億個を達成、在庫は適正水準に向かい、下期からは価格改定効果に期待。また、LEDバックライトは良好な立ち上がりで、引き続き保守的な想定。ミツミ事業では機構部品が本格的な需要期を迎え、さらなる上振れも期待。(大谷 正之)



昭和電工(4004)

第2四半期累計期間(1-6月・上期)の営業利益は前年同期比123%増、前回予想比100億円強の上振れの780.84億円だった。業績拡大の牽引役は黒鉛電極事業の好調が続く無機セグメント。電炉鋼生産の拡大による生産拡大及び国際市況の上昇(販売価格は前期平均の3倍強と会社計画を上回る)に加えて、前年下期の昭和電工カーボン・ホールディング GmbHの連結子会社化が寄与し、同セグメントの営業利益は583億円と前年同期比582億円増加、前回予想比78億円増加と急拡大した。また、石油化学、アルミ、その他のセグメントも前回予想比で上振れた。通期の業績見通しを修正、営業利益は前回予想比で330億円増額し1700億円。黒鉛電極の販売価格は需給の逼迫を背景に下期で前期平均の4倍強(前回の計画は同3倍程度とみていた)の上昇を想定している。尤も、足元はそれ以上に上昇している模様であり、修正後の計画も保守的に思える。

ソフトバンクG(9984)

第1四半期の営業利益は前年同期比49.2%増の7150億円と過去最高を更新。AI群戦略で世界の成長企業へ積極投資しているSVF(ソフトバンク・ビジョン・ファンド)事業が順調に推移していることが確認できたとみている。

日本ケミコン(6997)

第1四半期は売上高が前年同期比16.3%増の360億円、営業利益が同39.8%増の17.51億円。アルミ電解コンデンサの需要好調が続く、売上が拡大。一方で、生産能力の不足で労務費などの製造固定費が嵩んだ他、材料高などもあって営業利益はコンセンサスに若干届かなかった。なお、生産能力の拡大に向けて今期の設備投資額は前期よりも3割強増やす計画。第2四半期以降は能力増強の効果が出てくるとみられる他、アルミ電解コンデンサの価格改定も期待される。

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

住友鉱山(5713)

フィリピンのニッケル製錬プラントの生産がようやく正常操業に戻ったようだ(第1四半期の生産は操業上の問題から計画を25%下回った)。

マツキヨHD(3088)

第1四半期は前年同期比13.5%の営業増益。通期計画に対し順調なスタートとなったとみている。

アルバック(6728)

旺盛なサーバー需要を背景とした半導体製造装置及び電子部品製造装置などが好調で、前期の売上高は前年比7.5%増、営業利益は同20%増と創業以来の最高の売上高、3期連続の最高益更新となった。受注高は計画を大きく下回る2430億円だったものの、大型製品の期ズレが原因で、その分は今第1四半期に受注する見通し。今期の売上高は前年比2.3%増、営業利益は同3%増(営業利益率は14.3%)、受注高は同7%増を見込む。半導体製造装置、電子部品製造装置の好調が続くそうだが、FPD、PV製造装置が堅調に推移しそう。また、全社売上高の2割強を占めるカスタマーサポートが安定成長し、収益を下支えするとみられる。今後は、5G関連投資で拡大が見込まれる電子部品、メモリに加えロジックが成長する半導体、一定の需要があるFPD(大型TVやOLED)など、技術革新の潮流をビジネスチャンスと捉え、同社の真空技術、薄膜技術を活かした中期的な成長が期待されよう。

共立メンテナンス(9616)

第1四半期の営業利益は前年同期比1.7%増の25.49億円にとどまった。主に新規ホテルの開業費用等が増加したためだが、過度な懸念は不要と思われる。インバウンド需要の増加が続き、主力のドリーミン事業(ビジネスホテル)で、高稼働などとなっているため。

スシローグローバルHD(3563)

通期計画を修正、営業利益見通しを前回予想の99.39億円から116億円に上方修正。創業祭などのイベント効果や様々なメニューの投入効果などで既存店売上高が好調に推移している他、コスト削減の取り組みも順調。

(増田 克実)

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

<国内スケジュール>

8月13日(月)

特になし

8月14日(火)

特になし

8月15日(水)

7月首都圏マンション発売(13:00、不動産経済研)

7月訪日外国人人数(16:00、政府観光局)

終戦記念日

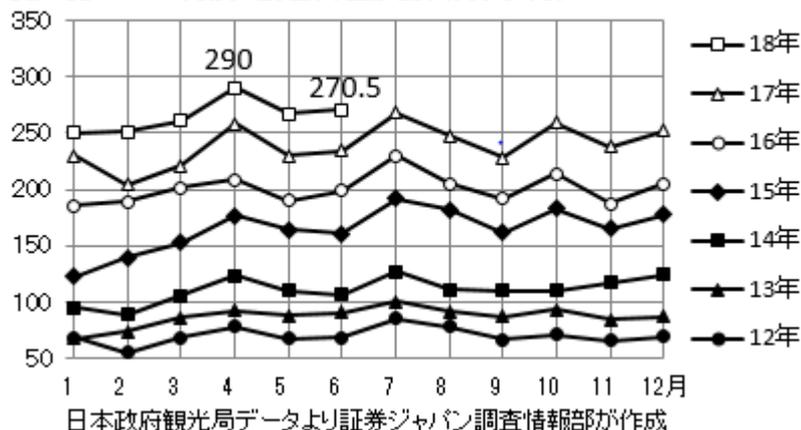
8月16日(木)

7月貿易統計(8:50、財務省)

8月17日(金)

特になし

【参考】 月別 訪日外国人数(万人/月)



<国内決算>

8月13日(月)

15:00~ 【1Q】Vテク<7717>

【3Q】クラウド<3900>、メドピア<6095>

16:00~ 【1Q】トリドールHD<3397>、ジャスト<4686>

時間未定 OK<3808>

【1Q】RIZAP<2928>

【2Q】アライドHD<6835>

8月14日(火)

12:00~ 【1Q】光通信<9435>

15:00~ 【1Q】エムアップ<3661>、沢井薬<4555>、出光興産<5019>、フェローテック<6890>、サイバDY<7779>

【2Q】ホットリンク<3680>、セレス<3696>

【3Q】オープンハウス<3288>

16:00~ 【1Q】REMIX<3825>

【2Q】セルシード<7776>、ラオックス<8202>

時間未定 【2Q】GNI<2160>、フォーサイド<2330>、アエリア<3758>

8月17日(金)

15:00~ 総医研<2385>、あいHD<3076>

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

<海外スケジュール・現地時間>

8月13日(月)

OPEC月報

休場 タイ(王妃誕生日)

8月14日(火)

中 7月鉱工業生産・小売売上高

中 1~7月都市部固定資産投資

独 4~6月期GDP

独 8月の独ZEW景気期待指数

欧 4~6月期ユーロ圏GDP改定値

欧 6月ユーロ圏鉱工業生産

8月15日(水)

中 7月70都市住宅価格

米 7月小売売上高

米 8月NY州製造業景況指数

米 7月鉱工業生産・設備稼働率

米 4~6月期労働生産性・単位労働コスト

米 6月企業在庫

休場 韓国(解放記念日)、伊、ギリシャ、ポーランド(聖母昇天祭)、インド(独立記念日)

8月16日(木)

欧 6月ユーロ圏対外貿易収支

米 7月住宅着工

米 8月フィラデルフィア連銀製造業景況指数

8月17日(金)

欧 6月ユーロ圏国際収支

欧 7月ユーロ圏消費者物価改定値

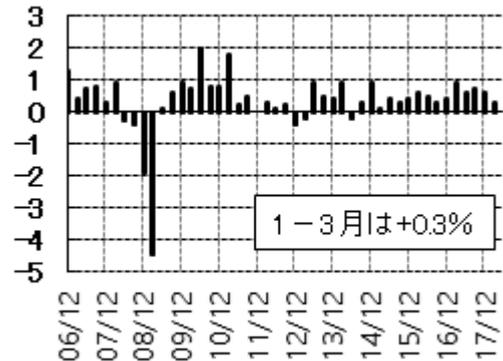
米 7月景気先行指数

休場 インドネシア(独立記念日)

8月18日(土)

第18回アジア競技大会(インドネシア、ジャカルタ)

【参考】 独 GDP 前期比(%)



Bloomberg dataより証券ジャパン調査情報部が作成

<海外決算・現地時間>

8月14日(火)

ホーム・デポ

8月15日(水)

シスコシステムズ、メーシーズ

8月16日(木)

ウォルマート、エヌビディア、アプライド・マテリアルズ、ギャップ、JCペニー

(東 瑞輝)

【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

投資にあたっての注意事項

●手数料について

○国内金融商品取引所上場株式の委託取引を行う場合、一取引につき対面取引では約定代金に対して最大1.2420%（税込）（但し、最低2,700円（税込））の委託手数料をご負担いただきます。また、インターネット取引では、「約定毎手数料コース」においては、1取引の約定代金が100万円以下の場合は1取引につき540円（税込）、1取引の約定代金が100万円超の場合は1取引につき1,080円（税込）の委託手数料をご負担いただきます。「1日定額コース」においては、1日の約定代金300万円ごとに1,620円（税込）の委託手数料をご負担いただきます。

募集等により取得する場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

※1日定額コースは、取引回数（注1）が30回以上の場合、現行の手数料に加えて21,600円（税込）の追加手数料を加算させていただきます。（注2）

注1 取引回数＝約定に至った注文の数

注2 複数市場へのご注文は市場ごとに1回の注文となります。

○外国金融商品取引所上場株式の外国取引を行う場合、売買金額（現地約定代金に買いの場合は現地諸費用を加え、売りの場合は現地諸費用を差し引いた額）に対して最大1.2960%（税込）の取次手数料をご負担いただきます。外国株式等の取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その金額をあらかじめ記載することはできません。

○外国株式等の国内店頭取引を行う場合、お客様の購入及び売却の取引価格を当社が提示します。外国株式等の国内店頭取引の取引価格には、手数料相当額や諸費用といった取引に必要なコストが含まれているため、別途の手数料及び諸費用はかかりません。

○非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

○投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等諸経費をご負担いただきます。

○外貨建て商品の場合、円貨と外貨の交換、または異なる外貨間の交換については、為替市場の動向に応じて当社が決定した為替レートによります。

●リスクについて

○株式は、株価変動による元本の損失を生じるおそれがあります。また、信用取引を行う場合は、対面取引においては建玉金額の30%以上かつ100万円以上、インターネット取引においては建玉金額の30%以上かつ30万円以上の委託保証金の差し入れが必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が多額となり差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

外国株式の場合、為替相場によっても元本の損失を生じるおそれがあります。外国株式等の中には、金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われていない銘柄があります。

○債券は、金利水準の変動等により価格が上下することから、元本の損失を生じるおそれがあります。

外国債券は、金利水準に加えて、為替相場の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。

○投資信託は、銘柄により異なるリスクが存在しており、各銘柄の組入有価証券の価格の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。各銘柄のリスクにつきましては目論見書等をよくお読み下さい。

●お取引にあたっては、開設された口座や商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読み下さい。これら目論見書等、資料のご請求は各店の窓口までお申出下さい。

●銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。

●本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

2018年8月10日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。

●当社の概要

商号等：株式会社証券ジャパン 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第170号

加入協会：日本証券業協会

コンプライアンス推進部審査済 2018年8月10日

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。